

このまちには夢がある 伊豆の国「夢の継承」予算

平成28年度

市長施政方針(要約)

私は、新年度予算を「このまちには夢がある」伊豆の国「夢の継承」予算」と位置づけました。

世界文化遺産の登録を受けた葦山反射炉をはじめ、先人たちの努力により築き上げられた多大なる歴史資源は、まさに「誇り」であります。そこで、郷土を愛する市民の皆様方と共存し、「歴史資源の宝庫」である



伊豆の国市を未来ある輝かしい次世代に継承していくための予算といたしました。それらを具現化していくための骨格となる三つの柱に沿ってご紹介します。

第1の柱 まち・ひと・しごと創生

将来の人口減少を克服し、地方の元気を取り戻すため、市ならではの地方創生に取り組んでいきます。

■花のまちづくり・花のおもてなしの推進【新規】

375万4千円
官民一体のおもてなし体制を強化するために、幅広い団体の参画による「花咲く伊豆の国市推進協議会」を立ち上げ、花のまちづくり、花のおもてなしを推進していきます。

■予約型乗合タクシーの運行【拡充】

100万2千円
昨年度実証運行を行った立花台・星和地区から伊豆長岡駅までの間の予約型乗合タクシーを、本格的に運行します。



■移住定住の促進【拡充】

872万3千円
若年世帯に対する定住促進を目的とした助成制度を継続するとともに

に、地域の魅力を効果的に発信する専用ホームページを新たに開設します。また、体験ツアーを開催するなど、移住定住施策を積極的に推進していきます。

■地域おこし協力隊の推進【新規】

900万円
都市住民の人材を受け入れ、地域協力活動を行いつつ、定住促進を図るための地域おこし協力隊を募集します。

■伊豆の国DMO(※)の形成【新規】

837万7千円
多様化、個性化が進む旅行者マーケットに的確な対応ができる体制に転換するため、伊豆の国DMOを形成していきます。

※DMOとは(Destination Marketing/Management Organization)の略で、旅行目的の地において、観光地としてのブランド作りや情報発信などを一本化して行う組織のことです。

■店舗リフォーム助成補助金の創設【新規】

2100万円
市内事業者を対象とした来客用店舗リフォーム助成を創設します。

第2の柱 次世代に誇りつる 財産の継承

貴重な歴史資源の保存や活用に力を注ぎ、次世代へ財産を継承するために、伊豆の国市の魅力を市内外に発信していきます。

■葦山反射炉ガイドンス施設と周辺整備

2億8801万3千円
葦山反射炉ガイドンス施設および多目的広場については、本年11月末日の完成を目標に整備を進めていきます。



■葦山反射炉の修理調査

1047万4千円
世界遺産となった葦山反射炉を後世に引き継いでいくために、反射炉の現状調査を行い、的確な修理保全計画を立案していきます。



■葦山反射炉保全基金の積立【新規】

5006万1千円
葦山反射炉の保全に向けた大規模修繕の財源とするため、観覧料収入のうち、維持管理運営経費に充てた残額を基金として積み立てていきます。

■道路・河川の維持補修等の整備【拡充】

1億1254万2千円
道路・河川環境の美化に力を注ぐとともに、市内各区の要望を受け、生活道路をはじめとする道路全般の維持補修を充実していきます。



第3の柱 「7つの命題」の 総仕上げ

今一度初心に戻り、市長就任時の所信表明で述べさせていた「7つの命題」に沿った施策の成果を売りあるものにしていきます。

1. 安心・安全の暮らしを実現

9250万円
■通学路等の整備【拡充】
329万円
■斎場整備の調査
306万6千円
■し尿処理場整備の調査

2. 農業・観光・産業経済・雇用対策の強化と充実

950万円
■観光誘導標識の整備【新規】
178万円
■インバウンドの推進【拡充】
2000万円
■住宅新築およびリフォームの助成

3. 子育て支援・少子化対策・女性の就業支援

315万4千円
■中学生遠距離通学の補助【拡充】
20万6千円
■風しん予防接種事業【新規】
2億1571万5千円
■こども医療費助成事業

4. 教育・人づくり・スポーツ振興と文化のまちづくり

216万円
■小中学校校務支援システムの導入【新規】
194万4千円
■地域教材の副読本の作成【新規】

5. 防災対策基盤の整備

1910万円
■谷戸川(宗光寺)流域浸水対策事業【新規】
1億8483万2千円
■小坂地区公民館耐震化促進整備補助金
1844万円
■長岡北小学校屋内運動場耐震改修事業

6. 地域連携の医療・介護・福祉

1263万円
■救急医療等運営事業補助金
1054万9千円
■ヘルスアップ事業の促進【新規】

7. 行財政改革

4300万円
■ふるさと寄附金推進事業
160万円
■市歌の普及啓発事業【新規】
663万9千円
■証明書のコンビニ交付【新規】

■特別会計ほか予算額■

■特別会計■ 133億710万円

国民健康保険	73億7,400万円
後期高齢者医療	5億1,600万円
介護保険	39億6,900万円
楠木及び天野揚水場管理	1,510万円
簡易水道等事業	1億200万円
下水道事業	13億3,100万円

■上水道事業会計■ 10億6,265万円

■基金の状況■ 47億3,137万円

基金名	平成28年度末 残高見込額
財政調整基金	28億6,997万円
減債基金	11億1,518万円
ふるさと応援基金	5,917万円
福祉対策基金	7,196万円
教育振興基金	2,202万円
志龍塾教育基金	1,472万円
環境基金	144万円
葦山反射炉保全基金	5,006万円
廃棄物処理施設地域振興基金	3,006万円
ふるさと水と土基金	2,604万円
温泉保護対策基金	2,879万円
土地取得基金	1億3,065万円
収入印紙等購入基金	600万円
国民健康保険 保険給付等支払準備基金	7,440万円
国民健康保険 高額医療費資金貸付基金	900万円
介護給付費準備基金	1億8,691万円
楠木及び天野揚水場 管理基金	3,500万円

■市債の状況■ 241億9,637万円

会計名	平成28年度末 残高見込額
一般会計	187億3,491万円
簡易水道等事業特別会計	2億4,215万円
下水道事業特別会計	43億1,908万円
上水道事業会計	9億23万円

(このうち50～60%は今後、国の普通交付税が充当される見込みです。)

平成28年度 当初予算の概要

～このまちには夢がある～ 伊豆の国“夢の継承”予算

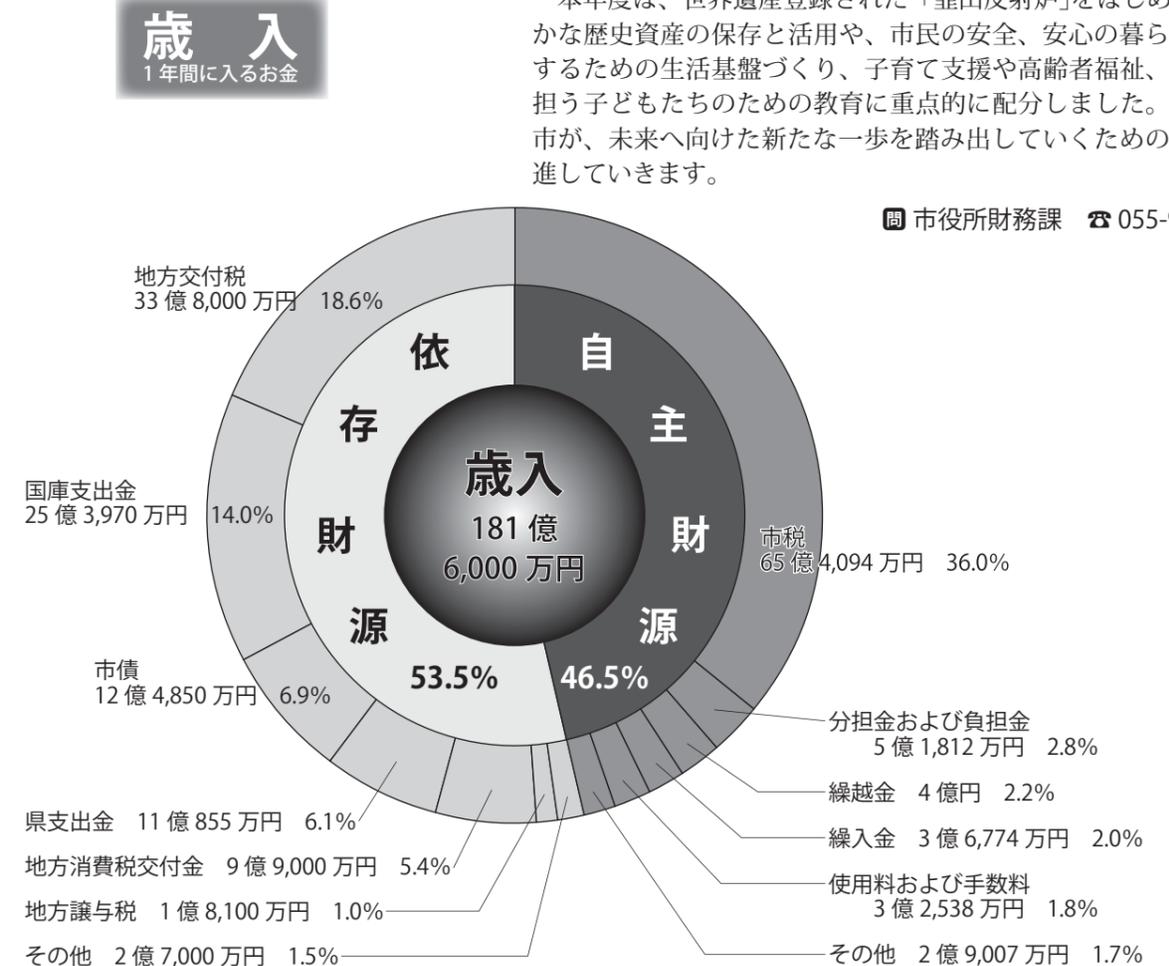
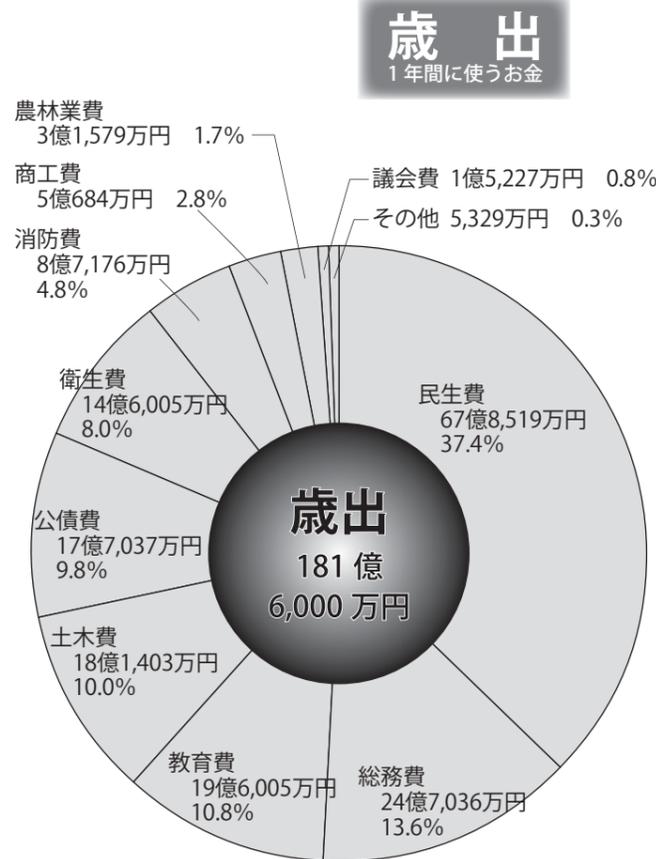
■一般会計■

181億6千万円

平成28年度の一般会計予算額は181億6千万円で、前年度から3億9千万円の減額となりました。

本年度は、世界遺産登録された「葦山反射炉」をはじめとする豊かな歴史資産の保存と活用や、市民の安全、安心の暮らしを確保するための生活基盤づくり、子育て支援や高齢者福祉、次世代を担う子どもたちのための教育に重点的に配分しました。伊豆の国市が、未来へ向けた新たな一歩を踏み出していくための施策を推進していきます。

市役所財務課 ☎ 055-948-1414



市民一人あたりの予算
36万4,476円の使い道

民生費
136,180円

総務費
49,581円

教育費
39,339円

土木費
36,408円

公債費
35,532円

衛生費
29,304円

消防費
17,496円

商工費
10,172円

農林業費
6,338円

議会費
3,056円

その他
1,070円

※平成27年10月1日現在の住民基本台帳人口(49,825人)で算出